

文部科学省科学技術人材育成費補助事業
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」



奈良から、関西から、
女性研究者の支援を牽引

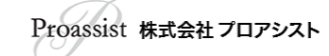
～全国に広がれ！ダイバーシティの取組～

[お問い合わせ]

奈良女子大学ダイバーシティ推進センター

Mail diversity-center@cc.nara-wu.ac.jp

<https://diversity-center.nara-wu.ac.jp/>



2019年度 選定

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)

奈良から、関西から、元気を全国へ!

～女性研究者の支援を牽引する私たちの提案～

- Page 4 | ●訪問型子育て支援+病児ケア・体制強化で発展
●異なる特色と共通点をもつ3校の連携
- Page 5 | ●連携 → 普及を見据えた環境整備と育成
●ダイバーシティ推進に意欲ある企業の参画
- Page 6 | ●地域での課題解決モデルを全国へ発信
●待望の「訪問型」病児・病後児保育の実現へ
- Page 7 | ●推進センターを核に女子大等のネットワークも新設

【代表機関】

国立大学法人

奈良女子大学

【共同実施機関】

- 奈良工業高等専門学校
- 武庫川女子大学
- 株式会社プロアシスト
- 帝人フロンティア株式会社
- 佐藤薬品工業株式会社



これまでの成果と発展

訪問型子育て支援+病児ケア・体制強化で発展

	これまでの成果*	さらに発展させる内容
1	<ul style="list-style-type: none"> ●「訪問型」子育て支援制度(「ならっこネット」等)の運用 ●地域のサポーターによる夜間・早朝・休日保育の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●「訪問型」病児・病後児保育システムのモデル構築
2	<ul style="list-style-type: none"> ●教育研究支援員制度 ●再チャレンジ型女性研究者支援制度 ●ライフイベント等に係る相談体制 	<ul style="list-style-type: none"> ●女性管理職支援制度 ●復帰・復職支援 ●企業研究者のキャリアアップ支援
3	<ul style="list-style-type: none"> ●若手研究者へのメンター制度 ●スタートアップ支援 ●女性研究者へのスキルアップ支援 	<ul style="list-style-type: none"> ●研究力の向上への支援により ●世界をリードする女性研究者を輩出
4	<ul style="list-style-type: none"> ●学長主導のポジティブ・アクション ●意識啓発活動 	<ul style="list-style-type: none"> ●「管理職養成プログラム」の構築 ●上位職階の女性教員比率の増加
5	<ul style="list-style-type: none"> ●地域連携活動「異分野交流会」等 	<ul style="list-style-type: none"> ●さらなる地域連携と全国発信

* 過去に採択された男女共同参画関連事業

奈良女子大学 ●「女性研究者支援モデル育成事業」(H18～H20) A 評価
 ●「女性研究者養成システム改革加速事業」(H22～H26) A 評価
 ●「ポストドクター・キャリア開発事業」* (H23～H27) S 評価
*奈良女子大学では男女共同参画推進の観点から強く推し進めた

武庫川女子大学 ●「女性研究者研究活動支援事業」(H24～H26) A 評価

具体的かつ効果的な取組

連携⇒普及を見据えた環境整備と育成

研究環境整備

- 1 「訪問型」病児・病後児保育システムのモデル構築*
- 2 子育て支援の充実・拡充*
- 3 ライフイベントからの復帰支援の充実、研究倫理教育
- 4 研究支援員制度の拡充
- 5 女性管理職支援制度の構築
- 6 ワークライフバランス支援相談室・講座の充実*

研究力向上・リーダー育成・上位職への積極登用

- 1 共同研究スタートアップ支援の充実*
- 2 女性対象の賞の設立・研究支援*
- 3 企業研究者・技術者のキャリアアップ支援*
- 4 アクションプランによる女性研究者の採用*
- 5 大学院進路選択支援
- 6 異分野交流支援*
- 7 女性管理職養成プログラムの開発*

ダイバーシティ実現方策の地域への普及

- 1 関西圏女子大学ダイバーシティ推進協議会(新設・仮称)の発足*
- 2 成果報告会とテーマ別シンポジウムの開催 例「大学における病児保育の現状と課題」*

*は代表機関と共同実施機関が連携して行う取組

目標 および行動計画の位置づけ

異なる特色と共通点をもつ3校の連携

国立大学法人 奈良女子大学
Nara Women's University
(代表機関)

基本理念の第一に「男女共同参画社会をリードする人材の育成」を掲げ、環境整備、女性の研究力向上、裾野拡大を推進、理学部を有する

第3期中期目標・中期計画

- 教育研究環境整備 ●復帰・復職支援 ●女性リーダーの育成
- 女性教員比率・女性管理職比率の明記

女性活躍推進法に基づく奈良女子大学行動計画

目標

- 女性教員学内昇任比率>対象職階の女性教員在籍比率(学長のアクションプラン)
- 女性教員比率、女性教員管理職比率の数値目標の設定
- 女性教員採用比率 50%(学長のアクションプラン)

今回の申請等

【自然科学系】●指導的地位にある女性教員の増加
 【全学】●学長によるポストの一元管理
 ●毎年度の各学系の自己点検評価報告 ●PDCAサイクル

奈良高専
National Institute of Technology (NIGENS), Nara College
(共同実施機関)

女性の校長の下で男女共同参画を推進、機械工学科、情報工学科、電気工学科、物質科学科等を有する

高専機構一般事業主 行動計画等

目標

- 【自然科学系】
- 女性教授職(工学系)の増加
- 女性採用の推進
- ポジティブ・アクション制度の活用
- 必要に応じ女性限定公募の実施

武庫川女子大学
(共同実施機関)

日本最大の規模をもつ私立女子大学、自然科学系の薬学科、健康・スポーツ科学科、建築学科等を有する

学校法人武庫川学院 行動計画等

目標

- 【自然科学系】
- 指導的地位への女性登用 促進
- 女性の採用の促進

行動計画

- ①積極的な女性採用の促進
- ②管理職育成等キャリア教育
- ③意識啓発の促進

- ・学長主導で公募制の導入を推進
- ・男女共同参画基本法に則った採用を宣言
- ・各部署長に女性研究者を積極的に採用するよう通知

目標 および行動計画の位置づけ

ダイバーシティ推進に意欲ある企業の参画

Proassist 株式会社 プロアシスト
(共同実施機関)

女性社長の下で男女共同参画を推進、経産省の「がんばる中小企業300社」「ダイバーシティ経営企業100選」に選定

女性社長が起業したIT企業の強みを活かした行動計画

目標

【自然科学系】
指導的地位にある女性研究者の増加

登用計画 【自然科学系】
指導的地位への女性の登用促進

採用計画 【自然科学系】女性の積極的採用

帝人フロンティア株式会社
(共同実施機関)

あらゆる繊維を取扱うモノづくり商社、人事基本方針「社員と共に成長する」

ダイバーシティ推進のための行動計画

目標

女性管理職数の増加

行動計画 2016年4月1日より10年間の「行動計画」を策定

佐藤薬品工業株式会社
SATO YAKUHIN KOGYO CO.,LTD
(共同実施機関)

奈良県下の企業、従業員の約半数は女性で、男女による条件の違いはない

女性が管理職として活躍できる雇用環境の整備

目標

管理職に占める女性の増加

行動計画 策定
(2016年4月1日～2020年3月31日)

これらの行動計画は、国の基本計画に掲げる女性研究者の新規採用割合、上位職への登用割合についての目標値の達成に大きく寄与する。

地域・分野の特色を踏まえた波及効果を生み出す取組

地域での課題解決モデルを全国へ発信

奈良県	女性の就業状況	産業構造
現状および課題	<ul style="list-style-type: none"> ●女性の地元就業率が全国最下位 ●女性管理職比率も低い ▶働く意欲あり：8割 →働きにくいと考える女性が多い(奈良県報告書より) ▶企業は、自前での女性管理職養成プログラムの構築が困難 	<ul style="list-style-type: none"> ●地場産業＝中小企業が多い ▶製菓 繊維製品 プラスチック製品 墨 筆 等の製造業 ▶女性研究者が一定数存在する ▶企業では、自前での研究者育成やキャリア支援が困難
課題解決のプロセス	<ul style="list-style-type: none"> ●就業環境の整備支援と女性管理職養成プログラムの提供 ▶女性の就業率、管理職比率の向上 ▶奈良県としても喫緊の課題 	<ul style="list-style-type: none"> ●企業の研究環境を改善 ▶中小企業を含む企業の女性研究者支援 ▶共同研究の推進 ▶学位取得支援 女性研究者のスキルアップ

波及効果・相乗効果を生み出せる根拠

- ✓ 柔軟で適応力のある取組 「訪問型」病児・病後児保育システム
- ✓ ニーズに即した普遍性のある取組 「女性管理職養成プログラム」
- ✓ 他の機関を牽引することのできる実施体制
- ✓ COC+事業、地域の企業団体との強いパイプ

女性研究者のライフイベントに配慮した具体的な取組

待望の「訪問型」病児・病後児保育の実現へ

これまでの取組により
若手女性教員の増加
理学部若手女性教員(助教、准教授)のうち
約60%が子育て中

病児・病後児保育の
ニーズも増加

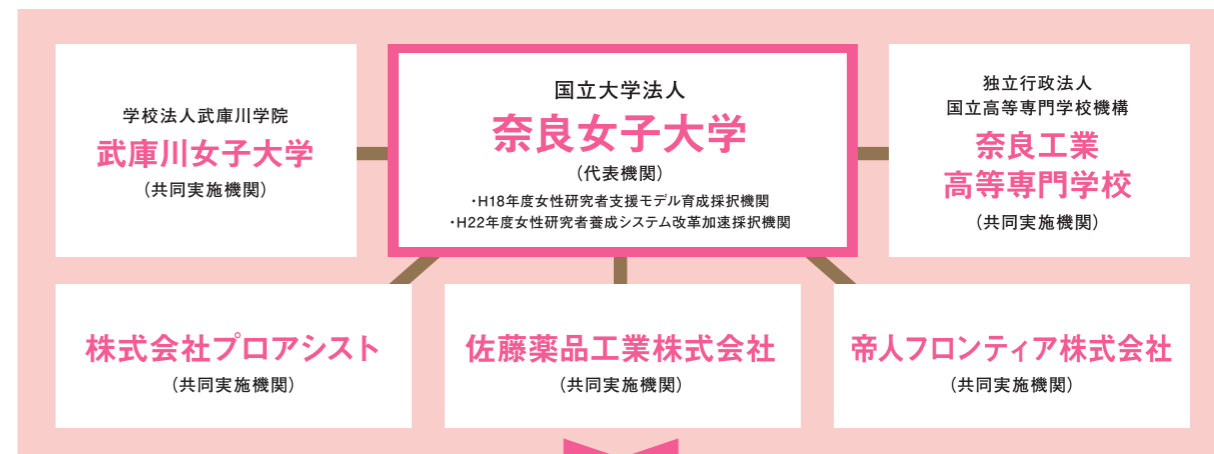


「訪問型」病児・病後児保育に向けた見通し

- 重要ポイント
- 1 リスク管理 事故を防ぐ
 - 2 サポーターの養成 病児・病後児の託児に対応
 - 3 医療機関との連携 近隣の小児科医等
- ❖ 自治体や各地域のファミリーサポートセンターと連携
 1. 市と県の医師会との連携
 2. 調査、意見交換：病児・病後児保育実施機関
 3. 専門家(医師・弁護士等)を交えた協議
 4. 病児・病後児対応可能サポーター養成
 5. シンポジウム等：「附属病院をもたない研究機関における病児・病後児保育のあり方」
 - ❖ 共同実施機関の技術活用
病児・病後児見守りシステム開発 …… プロアシスト社のIT技術

連携機関・協力機関・各種団体・自治体との連携体制

推進センターを核に 女子大等のネットワークも新設



関西圏女子大学・奈良県下の大学・高専と関西圏企業における研究環境整備
高い研究力をもつ女性リーダーの輩出
関西活性化の推進・全国への波及効果